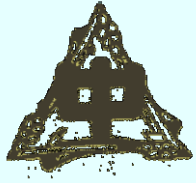


美園中だより

さいたま市立美園中学校



TEL 048-878-0019

<http://misono-j.saitama-city.ed.jp/>

第6号 平成28年9月30日

学校教育目標

世界にはばたけ

さわやかな学校

☆ 夢をはぐくみ

☆ 知を磨き

☆ 心身を鍛える

AS ユナイテッド

～さいたまのすごい人たち～

校長 阿久津一浩

今年の9月は、天候不順で秋雨前線の停滞がうとましく感じられました。そんな中でも、一人ひとりの生徒が立場と責任をわきまえ、体育祭の練習と準備に全力を尽くし、本番は秋晴れの中素晴らしい熱戦を見せてくれました。応援旗にも皆さんの熱意がこもっていました。保護者・地域の方々からの熱いご声援ありがとうございました。9月21日には、市内の「おはなしマリの会」の方々による全15クラスでの読み聞かせがありました。情感たっぷりに物語を読む語り手に引き込まれるように、熱心に聞き入っていました。

以前、埼玉新聞の記事で、CPサッカークラブ「AS ユナイテッド」が掲載されていました。CPサッカーとは、体が自由に動かなくてもボールをけり、皆でゴールを目指す脳性まひ者サッカーのことです。大原中学校の近くにある埼玉県障害者交流センターで週1回練習をしているそうです。記事では、「サッカーをやりたくても、部活や地域のチームに入れず一度は諦めた。ここで仲間とサッカーができるのがうれしいと思う人たちが集まっている。」とクラブ代表の方の話が紹介されていました。



体の左側にまひがある人には右側にパスをする。仲間をよく知り、意思を伝え合うことが大切で表情を見て声を掛け合いながらプレーするのだそうです。15年前発足時からのメンバーの一人は「障害に関係なくサッカーが好きな気持ちは皆同じ。クラブに入って人とのつながりが増え、視野が広がった。」と語っているそうです。平成25年に成立した「障害者差別解消法」が、いよいよ今年施行されました。障害のある人もない人も、一緒に勉強したり働いたり、文化活動に参加したりと、以前よりは社会参加が進んできました。しかし、日本にはまだ様々なバリアがあり、障害者や家族・関係者が諦めてしまうことが多い、ということが国の調査でわかっています。リオのパラリンピックで活躍した方々の陰には、職場や学校で様々な差別に苦しんでいる障害者もいる、ということを知っておいてほしいと思います。東京パラリンピックの頃には、今より障害のある人が住みよい日本になっているといいですね。



いじめ防止ほほえみかるた (東浦和中学校作) より

え 笑顔でも 悲しんでる人 いるんだよ

か 考えよう 逆の立場の その気持ち

